

二つの部署の連携にいわゆる「縦割り」の壁があるとの内部の声があり、川越版ネウボラを実施していく上でも不可欠であることから、この点を指摘し、連携強化の取り組みについて考え方を聞きました。答弁では、子育て包括支援センター検討の際にも連携強化の在り方について検討したい、また、定期的に情報交換・意見交換ができる仕組みの構築も一策との考えが示されました。

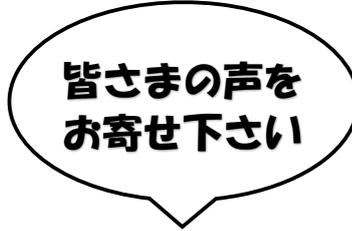


皆さんの声を形に「道路編2」

国道16号古谷上交差点北の道路陥没対応



ユニクス南古谷横交差点の巻き込み事故対応
大型車が左折時に歩道に大きく侵入している状況への対応として、赤ポールを設置、白線を引いてもらう等の巻き込み事故防止を求めたものです。



道路の老朽化によりひび割れ陥没したアスファルトの舗装を要請。応急措置ではありますが、大型車も多く、市の素早い対応に感謝。



行政評価システムをリニューアル

関連：グリーンズ川越42号、51号
(詳しくは議会報告会にて)

行政評価とは、今行われている行政活動が目的に対し、手段が適切であるか効率的であるかを評価し、次年度以降に反映させる仕組みです。川越市では平成15年から行政評価システムが導入され、事務事業評価が始まりました。しかし、計画や予算との連携が十分にとれなかったこと、外部意見が反映されなかったこと、所管課長が自己評価する仕組みだったことで、現事業を肯定する評価ばかりになったことなどの理由から、平成21年度から3年間は評価の実施を見送り、平成24年度から外部評価も取り入れ、新たな形で再出発したのが現在の評価制度でした。3度目の見直しとなる今回、評価結果と予算との連動性、評価対象事業数など、より効果的で効率的な評価制度にするため見直しが行われました。



28年度 政晴会 政務活動費報告

(平成28年4月～平成29年3月)

科目	金額	備考
研究研修費	0	*1
調査研究費	169,980	視察費等
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	10,847	文具費等
資料購入費	80,058	議員控室電話・ネット等 *2
広報公聴費	2,244,160	広報紙印刷・郵送費等
人件費	0	
その他	0	
合計(3人)	2,505,045	残額 14960

政務活動費は、会派（議員）が行う調査研究活動、その他の活動に必要な経費の一部として交付され、川越市議会では議員一人り当たり月7×12ヵ月で年間84万円まで請求できますが、使用範囲はガイドラインで決められ、請求は1円から領収書の提出が必要です。残金は市に返還。すべての領収書原本は議会事務局で閲覧できます。会派ごとの収支報告書は市のHPからも見る事ができます。

左表は議会内会派「政晴会」（3名）の政務活動費報告です。当てはまる支出すべてを請求すると年間84万円の請求限度額をはるかに超えるため、研究研修費*1や大部分の資料購入費*2等の請求はしていません。